

陣馬・相模湖方面の自然公園情報

日付：令和5年10月20日（金）

コース：篠原－石砂山－伏馬田

天気：晴れ

●秋雲のもと篠原を起点に石砂山を目指し伏馬田へ抜けます。武田・北条攻防の地にあり歴史の面影が残るルートです。

●登り口までしばらく続く舗装道をゆくと足跡がありました。シカでしょうか。土の踏み跡を見慣れた目に泥水スタンプは目新しく感じます。川から上がってまだ立ち去ったばかりかもしれません。右の写真左上の乾いた足跡と真ん中の濡れた足跡がわかるでしょうか？



●見られる季節は異なりますが、このあたりは県指定天然記念物のギフチョウの生息地として知られています。春には華麗な姿を見せてくれるでしょうか。産卵の場所であり幼虫の食糧であるカンアオイも大切にしたいと思いました。



●石砂山山頂まで 2.2km の行程なので比較的あっさりとたどり着いた印象です。昼にはまだ時間があり、すこし休憩をとってから伏馬田へ下りはじめました。頂上の濡れ土は滑りやすいので注意が必要です。



●尾根筋は開けると風が気持ちよく、揺れるススキの後方には紅葉のはじまった山々です。



●ススキの花と種子それぞれがありました。花が咲いて種子ができると綿毛様になって風散布されます。



●コナラです。捕虫器のターゲットはカシノナガキクイムシでしょうか。穿入して産卵しナラ枯れをおこします。小さな穴から噴き出した木くずと糞の混合物フラスが幹や根元にたくさんありました。



●所々に顔を覗かせる石畳は濡れていると滑りやすい気がしました。昔の草鞋ならばそんなこともなかったかもしれません。石畳の上で土のうが水切りの役目を負っています。



●「やまみち」と「大山みち」の分岐をかつて示していた庚申塔を過ぎて登山道が終わるあたりに、菌網を広げたキノガサタケを運よく見つけました。

